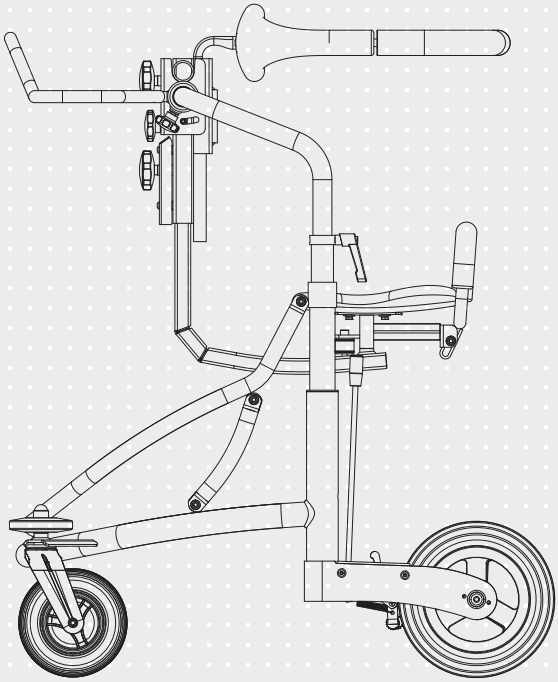
取扱説明書 / 사용 설명서 / 用户手册 **JP / KR / CN**

VELA Meywalk 4

取扱説明書番号: 106974
설명서 번호:
手册编号:

製品番号: / 제품 번호: / 产品编号:	モデル: / 모델: / 型号:
MS014000	Micro
MS013000	Small
MS011200	Medium
MS011250	Large



モデルによって設計が異なります。
모델에 따라 디자인이 다를 수 있습니다.
设计因型号而异。

CE MD ISO 9001
ISO 14001

VELA Meywalk 4

目次 / 목차 / 目录

日本語 **4**

한국어 **16**

台湾语 **28**

目次

1.0. 序章 **5**

1.1. 警告 **6**

1.2. トラブルシューティング **7**

1.3. 歩行器に使用されているラベル **8**

1.4. 安全性 **9**
1.4.1. 目的の使用 9

1.4.2. 輸送 9

1.5. クレーム権 **9**

1.6. 歩行器の開梱 **10**

1.7. メンテナンス **10**
1.7.1. 車輪 10
1.7.2. フレーム 10
1.7.3. 張り地の表面 10
1.7.4. 再利用可能な補助具 10

1.8. リサイクルと廃棄 **11**

1.9. 製品概要 **11**

2.0. ユーザーマニュアル **12**
2.0.1. 上部と下部フレームの組み立て 12
2.0.2. バネの取り付けと交換 12
2.0.3. バネの取り付けと交換（Micro） 12
2.0.4. 高さ調整 12
2.0.5. ブレーキ 13
2.0.6. 座面高さの調整 13
2.0.7. ボディリング高さの調整 13
2.0.8. ティルト機能 13
2.0.9. ボディリング 14
2.0.10. 乗降 14
2.0.11. ハンドル調整 14
2.0.12. ランプストップの使用 14
2.0.13. ランプストップの調整 15
2.0.14. スラーレスブレーキ 15
2.0.15. バックロック 15
2.0.16. 方向制御 15

1.0. 序章

お客様へ

このたびは新しいVELA Meywalk 4をご購入いただき、誠にありがとうございます。この歩行器が日々の生活で大いに役立つことを願っております。
この取扱説明書には、調整、操作、及びメンテナンスに関する有益な情報が記載されています。

重要
この取扱説明書をよくお読みいただき、後から参照できるよう大切に保管してください。取扱説明書は、常にユーザーが利用できる状態にし、歩行器と一緒に保管する必要があります。また、取扱説明書はwww.vela.euでもご覧いただけます。他の関連情報もこちらでご確認いただけます。

ご質問、故障、不測の事態が発生した場合は、VELA販売店にお問い合わせください。

仕様は予告なく変更される場合があります。

VELA
Göteborgvej 8-12
9200 Aalborg SV
デンマーク
www.vela.eu

1.1. 警告

使用について	必ずオリジナルのVELA Meywalk交換部品を使用してください。
使用について	歩行器付属のアクセサリーを改造しないでください。
使用について	歩行器は補助器具であり、指定された用途にのみ使用してください。
使用について	使用前にすべての部品が正しく取り付けられていることを確認してください。
使用について	歩行器は必ず監視下で使用してください。車輪が非常にスムーズに回転するため、周囲の環境やユーザーが歩行器を操作する方向に注意を払ってください。
使用について	乗降時には必ず歩行器のブレーキをかけてください。
使用について	ティルトバーは手動で上げ下げしてください。踏みつけて操作しないでください。
使用について	サイズが小型、中型、大型の場合、ティルトバーで歩行器を上下させることができます。ティルトバーを上げたり下げたりする際には、常に手でしっかり握り、途中で離さないでください。操作中にバーが上方に押し戻される力が発生するため注意が必要です。
使用について	歩行器は硬い床面でのみ使用してください。傾斜、凸凹、緩い、濡れた、または滑りやすい表面や高低差のある表面では使用しないでください。転倒のリスクがあります。
使用について	スプリングシステムが原因で、不安定なユーザーによる転倒のリスクが生じる可能性があります。VELA Meywalk 4はスプリングなしで使用しないでください。
使用について	調整中や設定変更中は歩行器を使用しないでください。可動部分に挟まれる危険があります。
使用について	VELA Meywalkとそのアクセサリーは安全を考慮して設計されています。装備品の一部を取り外すと、鋭利な開放端が残る場合があり、怪我の原因になることがあります。このような開放端にはプラスチックキャップを取り付けてください。
使用について	通常の清掃を超えるサービスは、必ず専門家に依頼してください。
使用について	使用中に歩行器を修理またはサービスしないでください。
使用について	推奨されるメンテナンスおよび清掃手順に従ってください。
使用について	クッション部分を直射日光にさらさないでください。または覆いをかけてください。表面が非常に熱くなり、皮膚に損傷を与える可能性があります。

1.2. トラブルシューティング

問題	考えられる原因と解決策
歩行器が回転しない	方向制御が有効になっている可能性があります。ポイント2.0.16を参照してください。
ブレーキ機能が動作しない	ブレーキが有効になっていません。ポイント2.0.5を参照してください。
上部が片側に傾いている	両方のスプリングが正しく取り付けられているか確認してください。ポイント2.0.2または2.0.3を参照してください。
上部が固定されて動かない	両方のスプリングが正しく取り付けられているか確認してください。ポイント2.0.2または2.0.3を参照してください。
歩行器がスムーズに動かない	車輪が詰まっています。車輪の糸くずなどを清掃してください。 スライドブレーキが有効になっている可能性があります。ポイント2.0.14を参照してください。
後ろ向きに進むことができない	逆行防止装置が有効になっている可能性があります。ポイント2.0.15を参照してください。
ハンドバーが緩んでいる	ハンドルを締め直してください。
シートバーが緩んでいる	ハンドルを締め直してください。
座位や歩行の高さが以前より低くなった	イタリアングリップを緩め、上部を希望の高さに移動させてから再度締めてください。ポイント2.0.4を参照してください。
体環と支柱が緩んでいる	ハンドルを締め直してください。
座位の高さが以前より低くなった	ティルトバーが下がっている可能性があります。ポイント2.0.10を参照してください

上記で問題が解決しない場合は、VELA販売店にお問い合わせください。

1.3. 歩行器に使用されているラベル

ラベル	60 x 22,5 mm 製品ID番号の最後の6桁：

歩行器のラベルは、通常の日光の下で約40cmの距離から読めるようになっています。
操作に関連するラベルについては、2.0項を参照してください。

1.4. 安全性

この歩行器はCEマークが付いており、EUの規則に準拠しています。
歩行器の製造者：
VELA, Gøteborgvej 8-12, DK-9200 Aalborg SV, デンマーク

1.4.1. 目的の使用
歩行支援が必要な子供と大人のための歩行器で、歩行機能が低下しているか、まったく歩行できない場合でも、立ち上がりや移動をサポートします。

:: 乗り降りの際は常にブレーキをかけてください

:: 歩行器は常に監視下で使用してください。車輪が非常に軽く回転するため、周囲の環境やユーザーが近づく可能性のある危険に注意することが重要です。

VELA Meywalkは以下の最大荷重でテストおよび認定されています：

:: VELA Meywalk 4 Micro: 60 kg.

:: VELA Meywalk 4 Small: 100 kg.

:: VELA Meywalk 4 Medium: 130 kg.

:: VELA Meywalk 4 Large: 130 kg.

1.4.2. 輸送
車両、飛行機、その他の輸送手段で歩行器を輸送する際には、必ずブレーキをかけてください。輸送中はユーザーが歩行器に乗っていることはできません。

歩行器は以下の輸送仕様に対応しています：
温度：-20°C 〜 +60°C
湿度：15% 〜 95%

1.5. クレーム権

VELAは、歩行器を購入した国の法律に基づき、クレーム権を提供します。クレーム権は、オリジナルの交換部品とアクセサリを使用し、専門家によって行われた調整にのみ適用されます。

ご注意: VELAと直接契約が結ばれている場合、その契約が適用されます！

VELAは以下に起因する製品またはユーザーへの損傷について責任を負いません：

:: 輸送

:: 不正使用

:: 通常の摩耗

:: 不適切な使用

:: 非オリジナル部品およびアクセサリの使用

:: 認定外の者による調整

1.6. 歩行器の開梱
歩行器は環境に優しくリサイクル可能な梱包材で配送されます。

歩行器に欠陥や輸送中の損傷がある場合は、すぐにVELAの供給者に連絡してください。このような場合、自分で修理を試みたり、歩行器を使用したりしないでください。

配達時に受け取ったものは次の通りです：

:: VELA Meywalk 4 歩行器

:: 歩行器用のボディリングとバネ。別の箱に梱包され、組み立て指示書が含まれています。ご注意：使用前に歩行器に取り付ける必要があります！

:: 歩行器のユーザーマニュアル

1.7. メンテナンス
歩行器の点検は年に一度実施し、例えば欠陥や摩耗した部品を見つけることをお勧めします。調整可能な部品は定期的に締め直す必要があります。詳細な指示はwww.vela.euで確認できます。

1.7.1. 車輪
車輪を定期的にチェックし、ワイヤーの破片などを掃除することをお勧めします。
特定の床の種類は車輪トラックに汚れを蓄積することがあります。必要に応じて車輪トラックを掃除してください。

1.7.2. フレーム
ぬるま湯で、場合によってはpH中性の石鹸を使って清掃します。
消毒は可能ですが、溶剤ベースの清掃剤（例：テレピン油）は使用しないでください。

1.7.3. 張り地の表面
プラスチック/合皮：水または中性石鹸を使って絞った布で清掃します。

ポリウレタンフォーム：ボディリング、手すり、座面のクッションは、消毒布で軽く拭きます。

注意：www.vela.euで、すべての標準的な張り地タイプの清掃指示を確認できます。

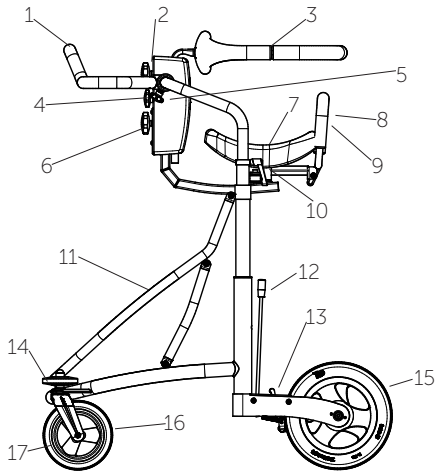
1.7.4. 再利用可能な補助具
VELA Meywalk 4は、もはや必要なくなった場合、事前に技術者によってサービスが行われることを条件に再利用できます。

歩行器の期待される耐用年数は、正常で正しい使用で5年です。VELA、VELAの供給者、または訓練を受けた専門家による年次点検と、摩耗した部品の交換をお勧めします。

1.8. リサイクルと廃棄

この製品にはリサイクル可能な素材が含まれています。したがって、製品は地元の法規制に従って廃棄されるべきで、通常の家庭ゴミとは一緒に処理しないでください。適切な廃棄とリサイクルは、環境や人間への悪影響を防ぐために貢献します。

1.9. 製品概要

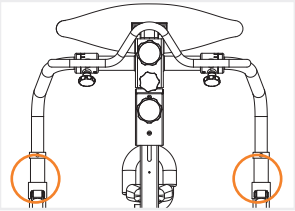


VELA Meywalk 4には以下が含まれています:

1. ハンドグリップ
2. ボディリングの高さ調整用ハンドスクリュー
3. ボディリング
4. 傾斜機能調整用ハンドスクリュー
5. ハンドグリップ調整用ハンドスクリュー
6. 座面高さ調整用ハンドスクリュー
7. 座面
8. お尻止め
9. 歩行車の調整用アレンキー
10. 上部支持棒調整用イタリアングリップ
11. チルトバー（Microには搭載されていません）
12. ブレーキ
13. リバウンドブロックとドラムブレーキ
14. フェンダーホイール
15. 後輪
16. 方向安定装置
17. 前輪

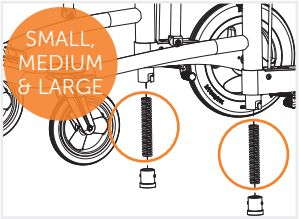
VELA Meywalk 4には、個々の使用者のニーズに合わせて調整できる幅広いアクセサリーがあります。VELA Meywalk 4のアクセサリーについては、www.vela.euで確認できます。

2.0. ユーザーマニュアル



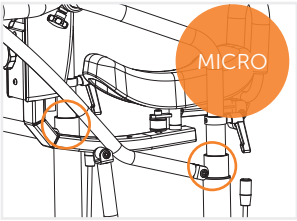
2.0.1. 上部と下部フレームの組み立て

上部は下部フレームの立ち上がり部分に取り付けます。上部を下部フレームの2つの立ち上がり部分にしっかりと取り付けます。
注：ハンドルは前向きにして、前輪の回転部分に向けてください。



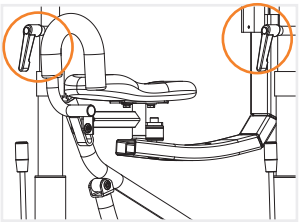
2.0.2. バネの取り付けと交換

ティルトバーを解除して、上部を最上位置まで持ち上げ、後輪の前に下部立ち上がり部分が見えるようにします。黒い底のキャップを押して回転させると、バネが見えるようになります。バネを取り付けまたは交換し、キャップをスロットに合わせて回して固定します。



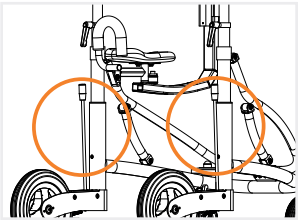
2.0.3. バネの取り付けと交換（MICRO）

上部を取り外し（2.0.1を参照）、その後、バネを簡単に取り付けまたは交換します。

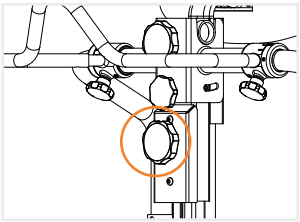


2.0.4. 高さ調整

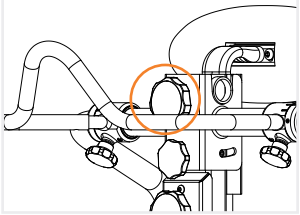
両側のイタリアングリップを緩め、フレームを希望の高さに調整します。フレームの両側で高さが均等に調整されることが重要です。イタリアングリップを再度締めてください。注：使用中に高さ調整を行わないでください。



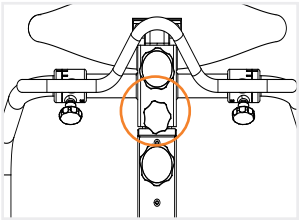
2.0.5. ブレーキ
ブレーキレバーは後輪の前に配置されています。両方のブレーキレバーを後方に引くと、両側でブレーキ機能が作動します。ブレーキはレバーを前方に戻すことで解除されます。
注：乗り降りの際は常にブレーキをかけてください。



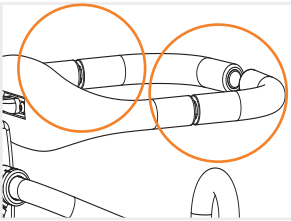
2.0.6. 座面高さの調整
前方の下部ハンドスクルー（押して回す）を緩め、座面を上下に調整します。座面のフレームの下に手を入れると、座面が最も滑りやすくなります。ユーザーの股下長さに合わせて座面の高さを調整し、ハンドスクルーを締めて座面を固定します。注：使用中に座面高さの調整を行わないでください。



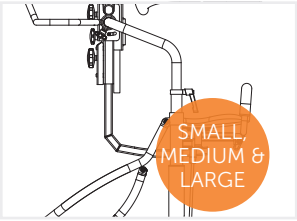
2.0.7. ボディリング高さの調整
前方の上部ハンドスクルー（押して回す）を緩め、ボディリングの高さを調整してから、ハンドスクルーを締めて固定します。適切な高さはユーザーの体型と移動の自由度に応じて異なります。ボディリングを交換するには、前面の2つの六角ネジを緩めてください。
注：使用中にボディリングを交換しないでください。



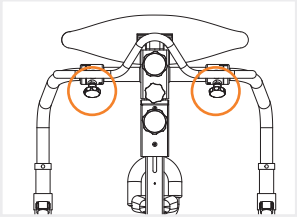
2.0.8. ティルト機能
前部の中央のハンドスクルーを回して、ティルト機能を調整します。ハンドスクルーを回すと、ボディリングと座面の角度が変わり、ユーザーの姿勢が変わります。ティルト機能は無段階調整可能です。
注：使用中にティルトを調整しないでください。



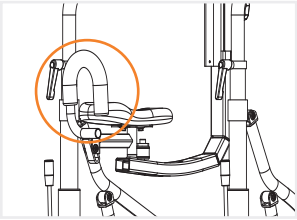
2.0.9. ボディリング
ボディリングは、外側のハンドル（背面）を上げることで開きます。ハンドルを下げてボディリングを閉じることで開口部が小さくなります。注意：使用中はボディリングを必ず閉じてください。



2.0.10. 乗降
両手でキップバー*を握り、上げます。これによりシートユニットが下がり、乗降が容易になります（Microモデルではキップ機能は使用できません）。シートユニットは、キップバーを押し下げて、クリック音が鳴るまでロックされます。注意：使用中にボディリングを閉じ（2.0.9項）、ランプストップ（2.0.12項）をロックすることを忘れないでください。

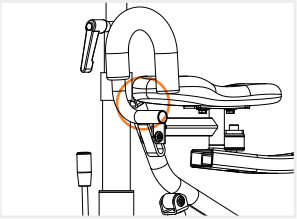


2.0.11. ハンドル調整
ハンドルの角度は、2つのハンドスクリューで調整できます。ハンドスクリューを反時計回りに回してハンドルを回転させます。ハンドルには3つの標準設定があります。再度ハンドスクリューをしっかり締めてください。
注意：ハンドルは垂直位置に調整し、使用者が作業台やキッチンカウンターなどに自由にアクセスできるようにします。

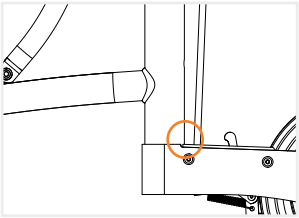


2.0.12. ランプストップの使用
ランプストップは、使用中に常に上げておく必要があります。ランプストップを上げてシートにあたるようにし、ロックします。使用者が歩行車から降りる際にはランプストップを持ち上げて下ろします。

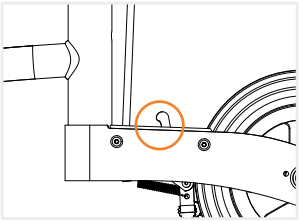
*キップバーを上げたり下げたりするときは、絶対に手放さないでください。



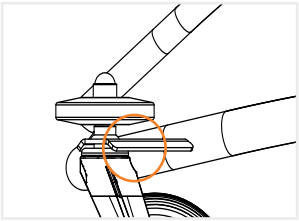
2.0.13. ランプストップの調整
ランプストップは下げて、四角形のプロファイル内にユニバーサルボルトが見えるようにします。ボルトを緩め、長さを調整します。ボルトを再度締めてください。



2.0.14. スラーレスブレーキ
スラーレスブレーキを有効にすると、該当側の抵抗が増します。これにより、速度を減速させる（両側）または、傾きの修正（片側）を行うことができます。ボルトの下のナットを緩め、必要な抵抗が得られるまで調整します。ナットを再度締めてください。
注意：スラーレスブレーキは両側で個別に調整されます。



2.0.15. バックロック
両方の後輪でバックロックを有効にすると、車椅子は前進のみ可能になります。銀色のボタンを持ち上げて有効にし、黒いボタンを押して無効にします。
注意：バックロックは両側で有効/無効にしてください。



2.0.16. 方向制御
方向制御を有効にすると、車椅子は前後の直線的な移動のみが可能になります。ホイールがシャーシに直立している状態でスナップロックのボタンを回し、ロックピンがホイールフォークの穴にかかるようにします。無効にするには、スナップロックのボタンを引いて、ロック状態に回し、ホイールを自由に回転できるようにします。
注意：方向制御は両側で有効/無効にしてください。

목차

1.0. 소개 **17**

1.1. 경고 **18**

1.2. 문제 해결 **19**

1.3. 보행기에 사용된 라벨 **20**

1.4. 안전 **21**
1.4.1. 의도된 사용 21
1.4.2. 운반 21

1.5. 보증 **21**

1.6. 보행기 개봉 **22**

1.7. 유지보수 **22**
1.7.1. 바퀴 22
1.7.2. 프레임 22
1.7.3. 패딩 표면 22
1.7.4. 재사용 가능한 보조기구 22

1.8. 재활용 및 폐기 **23**

1.9. 제품 개요 **23**

2.0. 사용자 매뉴얼 **24**
2.0.1. 상단과 하단 프레임 조립 24
2.0.2. 스프링 장착 및 교체 24
2.0.3. 스프링 장착 및 교체 (Micro) 24
2.0.4. 높이 조정 24
2.0.5. 브레이크 25
2.0.6. 좌석 높이 조정 25
2.0.7. 몸체 링 높이 조정 25
2.0.8. 틸트 기능 25
2.0.9. 바디 링 26
2.0.10. 승차 및 하차 26
2.0.11. 핸들 조정 26
2.0.12. 엉덩이 지지대 사용 26
2.0.13. 엉덩이 지지대 조정 27
2.0.14. 슬러브 브레이크 27
2.0.15. 후진 방지 장치 27
2.0.16. 방향 제어 27

고객님께

새로운 VELA Meywalk 4를 구매하신 것을 축하드립니다.
이 보행 보조기가 일상생활에서 유용하게 사용되기를 바랍니다.
이 사용 설명서에는 조정, 작동 및 유지보수에 대한 유용한 정보가 포함되어 있습니다.

중요
이 사용 설명서를 꼼꼼히 읽어보시고, 나중에 참조할 수 있도록 보관해 주십시오. 사용 설명서는 항상 사용자와 함께 보관되어야 하며 보행 보조기와 함께 제공되어야 합니다.
사용 설명서는 www.vela.eu에서도 확인할 수 있으며, 이곳에서 다른 관련 정보도 찾아볼 수 있습니다.

질문, 오류 발생 또는 기타 예상치 못한 일이 발생하면 VELA 공급업체에 문의하십시오.

사양은 예고 없이 변경될 수 있습니다.

VELA
Göteborgvej 8-12
9200 Aalborg SV
덴마크
www.vela.eu

1.1. 경고

사용 안내	VELA Meywalk의 정품 교체 부품만 사용하십시오.
사용 안내	보행기에 포함된 액세서리를 개조하지 마십시오.
사용 안내	보행기는 보조 장치로, 지정된 목적에만 사용해야 합니다.
사용 안내	사용 전에 모든 부품이 제대로 장착되었는지 확인하십시오.
사용 안내	반드시 감독하에 보행기를 사용하십시오. 바퀴가 매우 부드럽게 굴러가기 때문에 주변 환경과 사용자 이동 방향에 유의해야 합니다.
사용 안내	탑승 및 하차 시 항상 보행기의 브레이크를 작동시키십시오.
사용 안내	기울임 막대를 손으로만 올리거나 내리십시오. 발로 밟아 조작하지 마십시오.
사용 안내	크기가 Small, Medium, Large인 모델의 경우, 기울임 막대를 사용해 보행기를 높이거나 낮출 수 있습니다. 이 막대를 조작하는 동안에는 항상 손으로 단단히 잡고, 중간에 놓지 마십시오.
사용 안내	보행기는 단단한 바닥에서만 사용하십시오. 경사, 고르지 않은, 느슨한, 젖은, 미끄러운 표면 또는 높낮이 차이가 있는 표면에서는 사용을 피하십시오. 전복 위험이 있습니다.
사용 안내	매우 불안정한 사용자가 보행기를 사용할 경우, 스프링 시스템으로 인해 전복 위험이 발생할 수 있습니다. VELA Meywalk 4는 스프링 없이 사용하지 마십시오.
사용 안내	조정/설정 중에는 보행기를 사용하지 마십시오. 움직이는 부품으로 인해 끼일 위험이 있습니다.
사용 안내	VELA Meywalk 및 액세서리는 안전을 위해 설계되었습니다. 장비의 일부를 제거하면, 날카로운 노출된 끝이 발생하여 부상을 초래할 수 있습니다. 이러한 끝은 플라스틱 캡으로 덮어야 합니다.
사용 안내	일반 청소 이외의 서비스는 항상 전문가에게 맡기십시오.
사용 안내	사용 중에 보행기를 수리하지 마십시오.
사용 안내	권장 유지보수 및 청소 지침을 항상 따르십시오.
사용 안내	쿠션 표면을 직사광선으로부터 보호하거나 덮개를 씌우십시오. 표면이 매우 뜨거워져 피부에 손상을 줄 수 있습니다.

1.2. 문제 해결

문제	가능한 원인 및 해결 방법
보행기가 회전하지 않음	방향 제어가 활성화되어 있을 수 있습니다. 항목 2.0.16을 참조하십시오.
브레이크 기능이 작동하지 않음	브레이크가 활성화되지 않았습니다. 항목 2.0.5를 참조하십시오.
상부가 한쪽으로 기울어져 있음	두 스프링이 올바르게 장착되었는지 확인하십시오. 항목 2.0.2 또는 2.0.3을 참조하십시오.
상부가 고정되어 움직이지 않음	두 스프링이 올바르게 장착되었는지 확인하십시오. 항목 2.0.2 또는 2.0.3을 참조하십시오.
보행기가 제대로 굴러가지 않음	바퀴가 막혀 있습니다. 실, 먼지 등을 청소하십시오. 슬라이드 브레이크가 활성화되어 있을 수 있습니다. 항목 2.0.14를 참조하십시오.
뒤로 걸을 수 없음	역행 방지 장치가 활성화되어 있을 수 있습니다. 항목 2.0.15를 참조하십시오.
핸들바가 느슨함	핸들을 조이십시오.
좌석바가 느슨함	핸들을 조이십시오.
앉거나 걷는 높이가 이전보다 낮아짐	이탈리안 그립을 풀고 상부를 원하는 높이로 이동한 다음 다시 조이십시오. 항목 2.0.4를 참조하십시오.
체형링과 지지대가 느슨함	핸들을 조이십시오.
앉는 높이가 이전보다 낮아짐	기울임 막대가 내려갔을 수 있습니다. 항목 2.0.10을 참조하십시오.

위의 방법으로 문제가 해결되지 않으면 VELA 공급업체에 문의하십시오.

1.3. 보행기에 사용된 라벨

라벨	60 x 22,5 mm 제품 ID 번호의 마지막 6자리:

보행기의 라벨은 일반적인 자연광에서 약 40cm 거리에서 읽을 수 있도록 설계되었습니다.
작동과 관련된 라벨은 2.0항목을 참조하십시오.

1.4. 안전

이 보행기는 CE 마크가 있으며 EU 규정을 준수합니다.
보행기 제조업체:
VELA, Gøteborgvej 8-12, DK-9200 Aalborg SV, 덴마크

1.4.1. 의도된 사용

보행 기능이 감소하거나 전혀 없는 어린이와 성인을 위한 보행기로, 그들이 일어설 수 있도록 돕고 이동할 수 있게 합니다.

:: 승하차 시 항상 브레이크를 적용해야 합니다

:: 보행기는 항상 감독 하에 사용해야 합니다. 바퀴가 매우 쉽게 굴러가기 때문에, 주변 환경과 사용자가 다가갈 수 있는 위험에 주의하는 것이 중요합니다.

VELA Meywalk는 다음의 최대 하중에 대해 테스트되고 인증되었습니다:

:: VELA Meywalk 4 Micro: 60 kg.

:: VELA Meywalk 4 Small: 100 kg.

:: VELA Meywalk 4 Medium: 130 kg.

:: VELA Meywalk 4 Large: 130 kg.

1.4.2. 운반

자동차, 비행기 및 기타 운송 수단으로 보행기를 운반할 때는 항상 보행기의 브레이크를 사용하십시오. 운반 중에는 사용자가 보행기에 탑승할 수 없습니다. 보행기는 다음의 운송 사양을 처리할 수 있습니다:
온도: -20°C ~ +60°C
습도: 15% ~ 95%

1.5. 보증

VELA는 보행기를 구입한 국가의 법률에 따라 보증을 제공합니다. 보증은 오리지널 부품과 액세서리를 사용할 때만 유효하며, 전문가에 의해 조정된 경우에만 적용됩니다.

참고: VELA와 직접 계약이 체결된 경우, 그 계약이 우선 적용됩니다!

VELA는 다음과 같은 이유로 발생한 제품 또는 사용자 손상에 대해 책임을 지지 않습니다:

:: 운송

:: 남용

:: 일반적인 마모

:: 잘못된 사용

:: 비원래 부품 및 액세서리 사용

:: 인증되지 않은 사람이 한 조정

1.6. 보행기 개봉

보행기는 환경 친화적이고 재활용 가능한 포장으로 배송됩니다.

보행기에 결함이나 운송 중 손상이 있는 경우, 즉시 VELA 공급자에게 연락해 주세요. 이러한 경우, 직접 수리하거나 보행기를 사용하지 마세요.

배달 시 받으신 내용은 다음과 같습니다:

:: VELA Meywalk 4 보행기

:: 보행기용 몸체 링과 스프링. 별도의 상자에 포장되어 조립 지침서와 함께 제공됩니다. 주의: 사용 전에 보행기에 설치해야 합니다!

:: 보행기 사용자 매뉴얼

1.7. 유지보수

보행기의 점검은 매년 한 번씩 실시하여 결함이나 마모된 부품을 확인하는 것이 좋습니다. 조정 가능한 부품은 정기적으로 조여야 합니다. 자세한 지침은 www.vela.eu에서 확인할 수 있습니다.

1.7.1. 바퀴

주기적으로 바퀴를 점검하고 와이어 조각 등을 청소하는 것이 좋습니다.
일부 바닥 유형은 바퀴 트랙에 먼지를 축적할 수 있습니다. 필요에 따라 바퀴 트랙을 청소하십시오.

1.7.2. 프레임

미지근한 물과 pH 중성 비누로 청소합니다.
소독은 가능하지만 용제 기반 세정제(예: 테레핀)는 사용하지 마십시오.

1.7.3. 패딩 표면

플라스틱/합성 가죽: 물이나 순한 비누로 짠 천으로 청소합니다.

폴리우레탄 폼: 몸체 링, 손잡이 및 시트 쿠션은 소독용 천으로 가볍게 닦습니다.

참고: www.vela.eu에서 모든 표준 패딩 유형의 청소 지침을 찾을 수 있습니다.

1.7.4. 재사용 가능한 보조기구

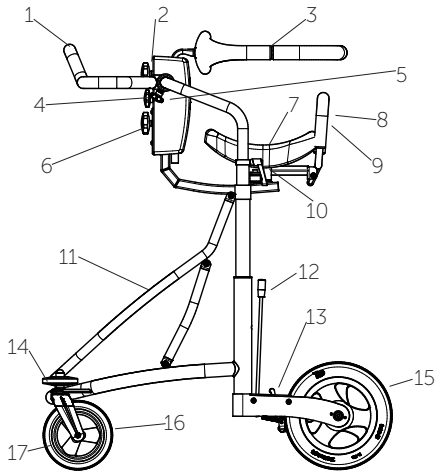
VELA Meywalk 4는 더 이상 필요하지 않은 경우, 기술자가 서비스를 수행한 후 재사용이 가능합니다.

보행기의 예상 수명은 정상적이고 올바른 사용을 전제로 5년입니다. VELA, VELA 공급자 또는 훈련된 전문가가 연간 점검을 수행하고 마모된 부품을 교체하는 것이 좋습니다.

1.8. 재활용 및 폐기

이 제품에는 재활용 가능한 재료가 포함되어 있습니다. 따라서 제품은 현지 법규에 따라 폐기되어야 하며 일반 가정 쓰레기와 함께 버려지지 않아야 합니다. 적절한 폐기 및 재활용은 환경과 인간에 미치는 부정적인 영향을 방지하는 데 기여합니다.

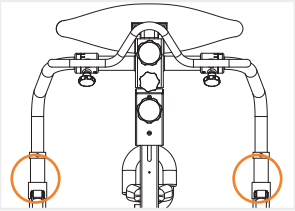
1.9. 제품 개요



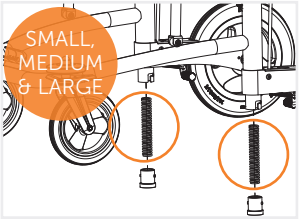
VELA Meywalk 4는 다음과 같습니다:

1. 손잡이
2. 몸체 링 높이 조정을 위한 손 조임 나사
3. 몸체 링
4. 기울기 기능 조정을 위한 손 조임 나사
5. 손잡이 조정을 위한 손 조임 나사
6. 좌석 높이 조정을 위한 손 조임 나사
7. 좌석
8. 엉덩이 멈춤
9. 이동차 조정을 위한 육각 렌치
10. 상단 기둥 조정을 위한 이탈리안 그립
11. 기울기 바(마이크로 모델에는 없음)
12. 브레이크
13. 후진 방지 장치 및 드럼 브레이크
14. 펜더 휠
15. 뒷바퀴
16. 방향 안정 장치
17. 앞바퀴

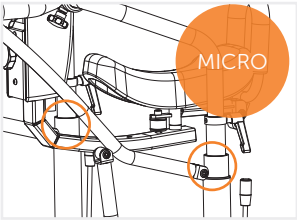
VELA Meywalk 4는 사용자의 개별적인 요구 사항에 맞게 맞춤 설정할 수 있는 다양한 액세서리 옵션을 제공합니다. VELA Meywalk 4의 액세서리 목록은 www.vela.eu에서 확인하실 수 있습니다.



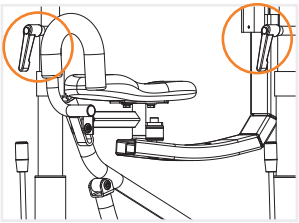
2.0.1. 상단과 하단 프레임 조립
상단을 하단 프레임의 기둥에 놓습니다. 상단을 하단의 두 기둥에 내립니다.
참고: 핸들은 앞쪽을 향해 회전하는 앞바퀴 쪽으로 배치해야 합니다.



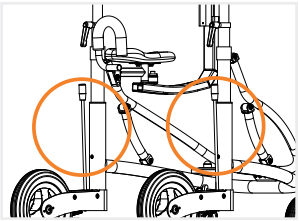
2.0.2. 스프링 장착 및 교체
틸트 바를 해제하고, 상단을 최상위 위치로 들어 올려 후륜 앞에 하단 기둥이 보이도록 합니다. 검은색 바닥 캡을 눌러 돌리면 스프링이 나타납니다. 스프링을 장착/교체하고, 캡을 슬롯에 맞춰 돌려서 잠급니다.



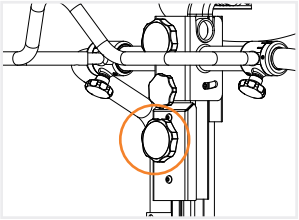
2.0.3. 스프링 장착 및 교체 (MICRO)
상단을 분리한 후 (2.0.1 참조), 스프링을 쉽게 장착하거나 교체할 수 있습니다.



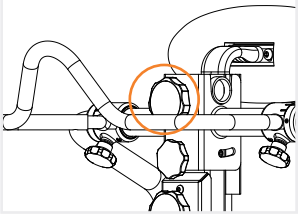
2.0.4. 높이 조정
양쪽의 이탈리안 그립을 풀고, 프레임을 원하는 높이로 조정합니다. 프레임 양쪽에서 높이가 동일하게 조정되는 것이 중요합니다. 이탈리안 그립을 다시 조여줍니다.
참고: 사용 중에는 높이 조정을 하지 마십시오.



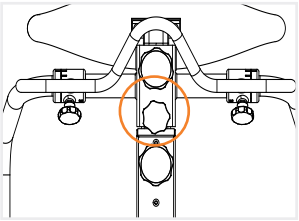
2.0.5. 브레이크
브레이크 레버는 후륜 앞에 배치되어 있습니다. 두 브레이크 레버를 뒤로 당겨 양쪽에서 브레이크 기능이 활성화됩니다. 브레이크는 두 브레이크 레버를 다시 앞으로 밀면 비활성화됩니다.
참고: 승차 및 하차 시 항상 브레이크를 작동시켜야 합니다.



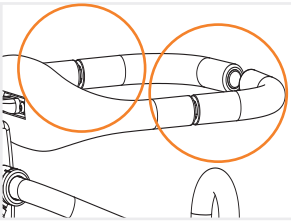
2.0.6. 좌석 높이 조정
앞부분의 하단 핸드스크루(누르고 돌리기)를 풀어 좌석을 위아래로 조정합니다. 좌석 프레임 아래로 손을 넣으면 좌석이 쉽게 미끄러집니다. 사용자의 다리 길이에 맞게 좌석 높이를 조정하고, 핸드스크루를 다시 조여 좌석을 고정합니다.
참고: 사용 중에는 좌석 높이 조정을 하지 마십시오.



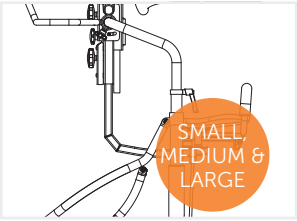
2.0.7. 몸체 링 높이 조정
앞부분의 상단 핸드스크루(누르고 돌리기)를 풀어 몸체 링의 높이를 조정하고 핸드스크루를 다시 조여 고정합니다. 적절한 높이는 사용자의 체형과 이동 자유도에 따라 달라집니다. 몸체 링을 교체하려면 앞면에 있는 두 개의 육각 나사를 풀어야 합니다.
참고: 사용 중에는 몸체 링을 교체하지 마십시오.



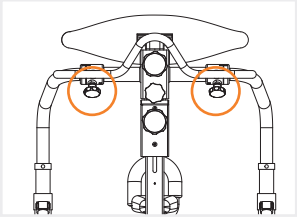
2.0.8. 틸트 기능
앞쪽의 중앙 핸드스크루를 돌려 틸트 기능을 조정합니다.
핸드스크루를 돌리면 몸체 링과 좌석의 각도가 변경되어 사용자의 자세가 바뀝니다. 틸트 기능은 무단계 조정이 가능합니다.
참고: 사용 중에는 틸트를 조정하지 마십시오.



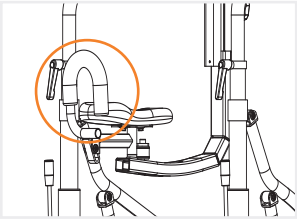
2.0.9. 바디 링
바디 링은 외부 손잡이(뒤쪽)를 위로 올려 열 수 있습니다. 손잡이를 아래로 내리면 바디 링이 닫혀 개구부가 작아집니다. 주의: 사용 중에는 항상 바디 링을 닫아야 합니다.



2.0.10. 승차 및 하차
두 손으로 기울임 바를 잡고 올리면, 시트 유닛이 내려가 승하차가 용이해집니다 (Micro 모델은 기울이기 기능이 없습니다). 시트 유닛은 기울임 바를 다시 눌러서 클릭 소리가 날 때까지 잠기게 합니다. 주의: 사용 중에 바디 링을 닫고(2.0.9 항목 참조), 엉덩이 지지대(2.0.12 항목 참조)를 잠그는 것을 잊지 마세요.

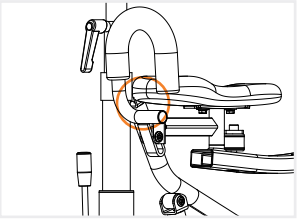


2.0.11. 핸들 조정
핸들의 각도는 두 개의 핸드 스크루로 조정할 수 있습니다. 핸드 스크루를 반시계방향으로 돌려 핸들이 회전할 수 있게 합니다. 핸들에는 세 가지 기본 설정이 있습니다. 다시 핸드 스크루를 조여주세요.
주의: 핸들은 수직 위치로 조정하여 사용자가 작업대, 주방 대면 등으로 자유롭게 접근할 수 있도록 합니다.

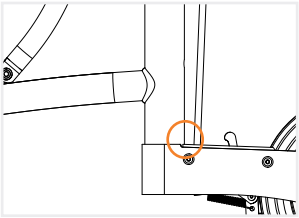


2.0.12. 엉덩이 지지대 사용
엉덩이 지지대는 사용 중 항상 위로 올려야 합니다. 엉덩이 지지대를 올려서 시트에 닿게 하여 잠금합니다. 사용자가 보행차에서 내릴 때는 엉덩이 지지대를 들어올려 내립니다.

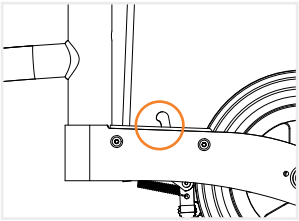
*기울이기 바를 올리거나 내릴 때는 절대로 손을 떼지 마세요.



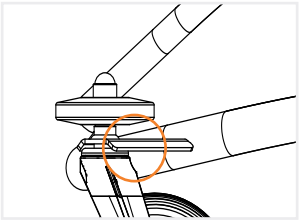
2.0.13. 엉덩이 지지대 조정
엉덩이 지지대는 내려서 네모 프로파일 안에 있는 유니버셜 스크루가 보이게 해야 합니다. 스크루를 풀고 길이를 원하는 위치로 조정합니다. 스크루를 다시 조여주세요.



2.0.14. 슬러브 브레이크
슬러브 브레이크를 활성화하면 해당 측면의 저항이 증가합니다. 이를 통해 속도를 줄이거나(양쪽) 기울기를 수정할 수 있습니다(한쪽). 스크루 하단의 너트를 풀고 원하는 저항이 나올 때까지 스크루를 조정합니다. 너트를 다시 조여주세요.
주의: 슬러브 브레이크는 양측에서 개별적으로 조정됩니다.



2.0.15. 후진 방지 장치
양쪽 뒷바퀴에서 후진 방지 장치를 활성화하면, 보행차는 전진만 가능합니다. 은색 버튼을 들어 올려 활성화하고, 검은색 버튼을 눌러 비활성화합니다.
주의: 후진 방지 장치는 양측에서 활성화/비활성화 해야 합니다.



2.0.16. 방향 제어
방향 제어를 활성화하면, 차량은 직선으로만 전후로 움직일 수 있습니다. 휠이 샤시와 직각인 상태에서 스냅 락의 버튼을 돌리고, 잠금 핀이 휠 포크의 구멍에 맞도록 합니다. 비활성화하려면 스냅 락 버튼을 당겨 잠금 상태로 돌려 휠이 자유롭게 회전하도록 합니다.
주의: 방향 제어는 양측에서 활성화/비활성화 해야 합니다.

目录

1.0. 简介 **29**

1.1. 警告 **30**

1.2. 故障排查 **31**

1.3. 步行器上使用的标签 **32**

1.4. 安全 **33**
1.4.1. 预期用途 33
1.4.2. 运输 33

1.5. 保修 **33**

1.6. 拆包步态车 **34**

1.7. 维护 **34**
1.7.1. 轮子 34
1.7.2. 框架 34
1.7.3. 衬垫表面 34
1.7.4. 可回收助行器 34

1.8. 回收和处置 **35**

1.9. 产品概览 **35**

2.0. 用户手册 **36**
2.0.1. 上部与下部框架的组装 36
2.0.2. 弹簧的安装与更换 36
2.0.3. 弹簧的安装与更换 (Micro) 36
2.0.4. 高度调节 36
2.0.5. 刹车 37
2.0.6. 座椅高度调节 37
2.0.7. 身体环高度调节 37
2.0.8. 倾斜功能 37
2.0.9. 身体环 38
2.0.10. 上车与下车 38
2.0.11. 手柄调节 38
2.0.12. 臀部支撑的使用 38
2.0.13. 臀部支撑调节 39
2.0.14. 滑行刹车 39
2.0.15. 反向锁止 39
2.0.16. 方向控制器 39

1.0. 简介

亲爱的客户：

恭喜您购买全新的VELA Meywalk 4。我们相信这款助行器将在您的日常生活中带来极大的便利和乐趣。
本用户手册包含有关调节、操作和维护的实用信息。

重要提示
请仔细阅读本用户手册，并妥善保存以便日后参考。用户手册应始终供用户随时使用，并与助行器一同存放。用户手册也可在www.vela.eu上找到，您还可以在此获取其他相关信息。

如果您有任何问题、遇到故障或其他意外情况，请联系您的VELA供应商。

我们保留更改的权利。

VELA
Göteborgvej 8-12
9200 Aalborg SV
丹麦
www.vela.eu

1.1. 警告

使用指南	仅使用原装VELA Meywalk更换部件。
使用指南	不要改装随步行器附带的配件。
使用指南	步行器是一种辅助设备，应仅用于指定用途。
使用指南	使用前请检查步行器的所有部件是否安装正确。
使用指南	步行器只能在监护下使用。轮子非常灵活，因此需特别留意周围环境和用户的移动方向。
使用指南	上下步行器时，务必确保刹车已启动。
使用指南	倾斜杆只能手动升降，不要踩踏操作
使用指南	对于小号、中号和大号，倾斜杆可用来在上下步行器时调整高度。操作倾斜杆时，务必始终握紧，切勿中途松手。
使用指南	步行器仅适用于平整的地面。避免在倾斜、不平整、松散、湿滑或有高度差的表面上使用，以免发生倾翻风险。
使用指南	如果用户不稳定，弹簧系统可能导致倾翻风险。VELA Meywalk 4不可在无弹簧的情况下使用。
使用指南	调整/设定过程中，请勿使用步行器，因为活动部件可能夹伤。
使用指南	VELA Meywalk及其配件经过安全设计。如果设备部件被移除，可能会出现锋利的开放端，造成伤害。这些开放端需用塑料盖封闭。
使用指南	除日常清洁外的服务应由专业人员执行。
使用指南	切勿在使用中对步行器进行维护或修理。
使用指南	始终遵循推荐的维护和清洁指南。
使用指南	防止垫子表面暴露在阳光下，或用罩布遮盖，以免表面过热，造成皮肤损伤

1.2. 故障排查

问题	可能原因及解决方案
步行器无法转向	方向控制可能已激活。请参阅第2.0.16节。
刹车功能失效	刹车未激活。请参阅第2.0.5节。
上部倾斜到一侧	检查两根弹簧是否正确安装。请参阅第2.0.2或2.0.3节。
上部卡住不动	检查两根弹簧是否正确安装。请参阅第2.0.2或2.0.3节。
步行器滚动困难	轮子被堵住了。清洁轮子上的线头等异物。滑行刹车可能已激活。请参阅第2.0.14节
无法向后行走	倒退阻挡装置可能已激活。请参阅第2.0.15节。
手柄松动	紧固手柄。
座椅杆松动	紧固手柄。
坐姿或行走高度低于之前	松开意大利手柄，将上部调整到所需高度，然后重新紧固。请参阅第2.0.4节。
体环和支柱松动	紧固手柄。
坐姿高度低于之前	倾斜杆可能已放下。请参阅第2.0.10节。

如果以上方法无法解决问题，请联系您的VELA供应商。

1.3. 步行器上使用的标签

标签	60 x 22,5 mm 产品ID号的最后6位：	

步行器上的标签设计为在正常日光下从约40厘米的距离读取。
有关操作的标签，请参阅第2.0节。

1.4. 安全

该步行器具有CE标志，符合欧盟规定。
步行器制造商：
VELA, Gøteborgvej 8-12, DK-9200 Aalborg SV, 丹麦

1.4.1. 预期用途

此步态辅助器适用于需要帮助起立和移动的儿童和成人，特别是那些步态功能受限或完全丧失的人。

:: 上下车时请始终使用刹车

:: 步态辅助器只能在监督下使用。由于轮子非常容易滚动，因此需要特别注意周围环境以及用户可能接近的任何危险。

VELA Meywalk已通过以下最大负载测试并获得认证：

:: VELA Meywalk 4 Micro: 60 kg.

:: VELA Meywalk 4 Small: 100 kg.

:: VELA Meywalk 4 Medium: 130 kg.

:: VELA Meywalk 4 Large: 130 kg.

1.4.2. 运输

在运输步态辅助器时，无论是通过汽车、飞机还是其他运输工具，都应始终使用步态辅助器的刹车。运输过程中，用户不得在步态辅助器内。
步态辅助器可以承受以下运输条件：
温度：-20°C 至 +60°C
湿度：15% 至 95%

1.5. 保修

VELA根据购买步态辅助器所在国家的法律提供保修服务。保修仅适用于使用原厂配件和附件，并由专业人员进行调整的情况。

注意：如果与VELA直接签订了特殊合同，则适用该合同！

VELA不对因以下原因导致的产品或用户损害负责：

:: 运输

:: 滥用

:: 一般磨损

:: 错误使用

:: 使用非原装配件和附件

:: 未授权人员进行的调整

1.6. 拆包步态车
步态车采用环保和可回收的包装材料进行运输。

如果步态车有任何缺件或运输损坏，请立即联系您的VELA供应商。在这种情况下，请勿自行修理或使用步态车。

交货时，您已收到：

:: VELA Meywalk 4 步态车

:: 步态车的身体环和弹簧。包装在单独的盒子中，附有组装说明。注意：使用前必须将其安装到步态车上！

:: 步态车的用户手册

1.7. 维护
建议每年对步态车进行一次检查，以找出例如损坏或磨损的部件。应定期紧固所有可调节部件。详细的说明可以在www.vela.eu上找到。

1.7.1. 轮子
建议定期检查轮子并清除任何线屑等。某些地板类型会在轮道上积累污垢。根据需要清洁轮道。

1.7.2. 框架
使用温水清洁，必要时加入pH中性的肥皂。
可以消毒，但不得使用溶剂基清洁剂（如松节油）。

1.7.3. 衬垫表面
塑料/人造皮革：用水或温和肥皂拧干的布清洁。

聚氨酯泡沫：身体环、手把和座垫的衬垫可以用消毒布轻轻擦拭。

注意：您可以在www.vela.eu上找到我们所有标准衬垫类型的清洁指南。

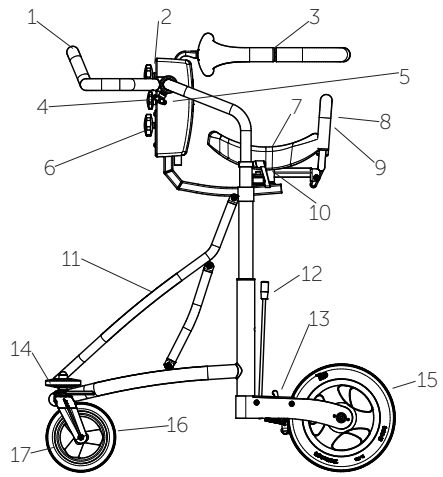
1.7.4. 可回收助行器
当您不再需要VELA Meywalk 4时，只要由技术人员进行服务，便可以重新使用。

步态车的预期寿命为5年，前提是正常和正确使用。我们建议由VELA、VELA供应商或经过培训的专业人员进行年度检查，并在必要时更换磨损部件。

1.8. 回收和处置

该产品包含可回收材料。因此，产品应根据当地法律规定进行处置，而不是与普通家庭垃圾一起丢弃。正确的处置和回收有助于防止对环境和人类健康产生负面影响。

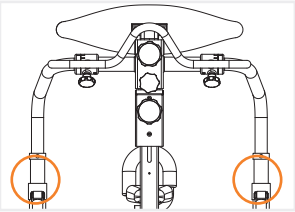
1.9. 产品概览



VELA Meywalk 4包括：

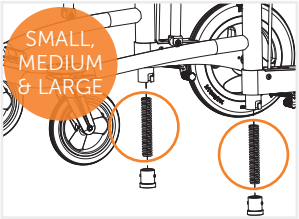
1. 手把
2. 调整身体环高度的手旋螺丝
3. 身体环
4. 调整倾斜功能的手旋螺丝
5. 调整手把的手旋螺丝
6. 调整座椅高度的手旋螺丝
7. 座椅
8. 屁股止挡
9. 用于调整助行车的六角扳手
10. 用于调整上支撑杆的意大利手柄
11. 倾斜杆（Micro型号没有）
12. 刹车
13. 反弹限位装置和拖车刹车
14. 挡泥轮
15. 后轮
16. 方向稳定器
17. 前轮

VELA Meywalk 4拥有广泛的配件，可根据个别使用者的需求调整。VELA Meywalk 4的配件选择可以在www.vela.eu找到



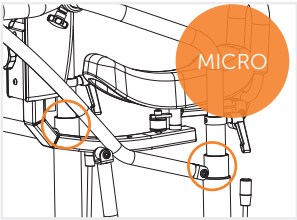
2.0.1. 上部与下部框架的组装

将上部放置到下部框架的立柱上。将上部下放到两个立柱上。
注意：手柄应朝向前方，面向可旋转的前轮。



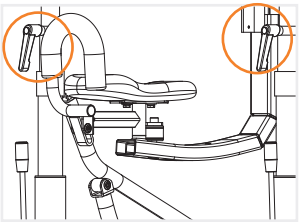
2.0.2. 弹簧的安装与更换

释放倾斜杆，并将其抬至顶部位置，使得后轮前方的下部立柱显现。按下并旋转黑色底部盖子，以便取下并显现出弹簧的位置。安装/更换弹簧，然后将盖子放入槽中并旋转至锁定位置。



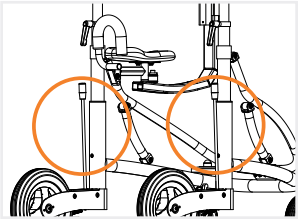
2.0.3. 弹簧的安装与更换（MICRO）

取下上部（参见2.0.1），然后轻松安装或更换弹簧 。

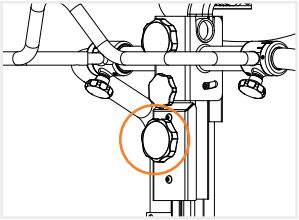


2.0.4. 高度调节

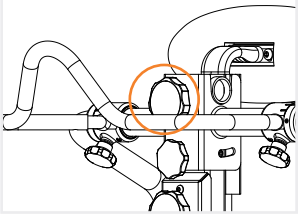
松开两侧的意大利旋钮，将框架调至所需的高度。确保框架两侧的高度一致。再次紧固两侧的意大利旋钮。
注意：在使用时，请勿调整高度。



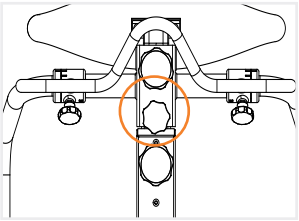
2.0.5. 刹车
刹车杆位于后轮前方。向后推两个刹车杆以激活两侧的刹车功能。通过将刹车杆推回前方来解除刹车。
注意：上下车时，刹车必须保持锁定。



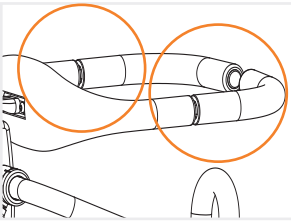
2.0.6. 座椅高度调节
松开前方的下部手螺丝（按压并旋转），座椅现在可以上下调节。将一只手放在座椅杆下方，使座椅更容易滑动。根据用户的跨步长度调节座椅高度，然后重新拧紧手螺丝以锁定座椅。
注意：在使用时，请勿调整座椅高度。



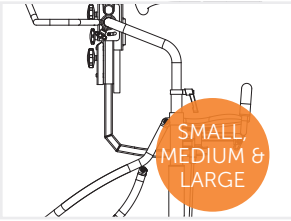
2.0.7. 身体环高度调节
松开前方的上部手螺丝（按压并旋转），调节身体环至所需高度，然后重新拧紧手螺丝以锁定。合适的高度根据用户的体型和活动自由度而异。要更换身体环，松开前面两个六角螺丝。
注意：在使用时，请勿更换身体环。



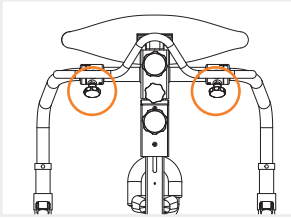
2.0.8. 倾斜功能
旋转前部的中央手螺丝以调节倾斜功能。旋转手螺丝时，通过改变身体环和座椅的角度来改变用户的体位。倾斜功能是无级调节的。
注意：在使用时，请勿调整倾斜。



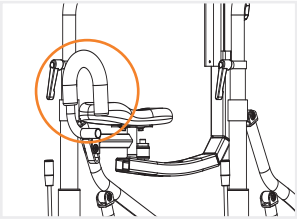
2.0.9. 身体环
身体环通过将外侧手柄（背面）向上抬起打开。将手柄向下推，身体环就会关闭，开口变小。注意：使用时，身体环必须始终保持关闭状态。



2.0.10. 上车与下车
用双手抓住倾斜杆*并将其抬起，这样座椅单元会降低，方便上下车（Micro款无法倾斜）。按下倾斜杆，座椅单元会升起，直到听到“咔嗒”声，锁定在点击钩中。注意：使用时，请记得关闭身体环（参见第2.0.9条），并锁定臀部支撑（参见第2.0.12条）。

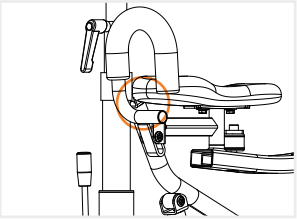


2.0.11. 手柄调节
手柄的角度可以通过两个手轮进行调节。逆时针旋转手轮，手柄就能旋转。手柄有三种标准设置。记得再次紧固手轮。
注意：手柄可以调节至垂直位置，方便使用者自由访问工作台、厨房台面等。

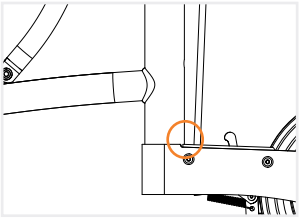


2.0.12. 臀部支撑的使用
在使用过程中，臀部支撑应该始终处于上升状态。将臀部支撑向上摆动，使其与座椅接触并锁定。当使用者需要离开行走车时，将臀部支撑抬起并放下，解锁臀部支撑。

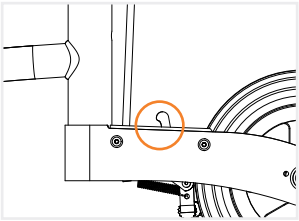
*在抬起或放下倾斜杆时，请勿松手。



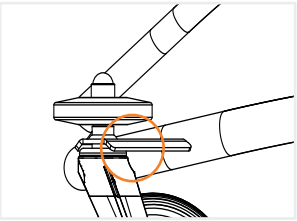
2.0.13. 臀部支撑调节
臀部支撑应该放下，使得方形剖面内可以看到一个内六角螺丝。松开螺丝并将长度调整到所需位置。记得重新紧固内六角螺丝。



2.0.14. 滑行刹车
通过激活滑行刹车，可以增加该侧的阻力。这样可以减少速度（两侧）或调整行走偏斜（单侧）。松开螺丝下方的螺母，并调整螺丝，直到达到所需的阻力。重新紧固螺母。
注意：滑行刹车在两侧进行单独调整。



2.0.15. 反向锁止
通过激活后轮的反向锁止，行走车只能前进。通过抬起银色按钮来激活，按下黑色按钮来取消激活。
注意：请在两侧始终激活/取消激活反向锁止。



2.0.16. 方向控制器
激活方向控制器后，车只能沿直线前进或后退。在车轮与车架保持直立的状态下，旋转快锁按钮，使锁销与车轮叉上的孔对接。通过拉回快锁按钮并旋转至锁定状态，来解锁车轮自由旋转。
注意：方向控制器必须在两侧同时激活/取消激活。

702.037 © Vermund Larsen A/S